

東海道五十三次
どまん中袋井宿

KONJAKU MAP

盛り上げよう！
袋井宿開設
400周年

今昔マップ

(永久保存版)

第3回
街歩きマップコンテスト
日本経済新聞社賞受賞

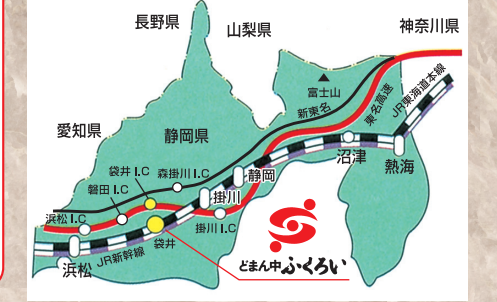
東海道五十三次



袋井宿

袋井市
総務部市民協働課
〒437-8666 静岡県袋井市新屋一丁目1-1
TEL.0538-44-3107
http://www.city.fukuroi.shizuoka.jp
(平成24年7月改正)

時を超えて、歴史めぐり...
袋井市では、東海道の宿駅制度開設400年(2001年)に、東海道沿線の整備を行いました。
今度は平成28年(2016年)に、袋井宿が開設400年を迎えます。袋井市内に残る東西7kmの東海道を歩いてみると、史跡や寺社などの多くの歴史遺産に出会うことができます。さあ、みなさん、今昔マップを片手に袋井市の東海道を訪ねてみましょう。



東海道案内板とサイン



沿線の史跡や歴史遺産を紹介した二基の市内道案内板をはじめ、市内の企業団体等から寄付された九基の浮世絵看板、各種の文化財説明板や標示柱、平成の里程サイン、袋井市内古道の路面埋め込みサインなど、袋井市内の東海道沿線には、大小九十余基のサインが設置されています。ひととつ確かめながら歩くのも、楽しい郷土史学習です。また、袋井宿内をはじめ、東海道の面した商店や民家の軒先には、屋号や店名を刻んだ市民手作りの懸札がつけられています。



東海道案内板→
浮世絵看板→



富士浅間宮(国指定重要文化財)
と赤鳥居
平安時代の初期、板上田村麻呂が戦勝祈願し、成就した恩に報いるため社殿を造ったとされる。桃山時代中期の建築物である現在の本殿は三間流造り、檜皮葺の屋根が美しい国の重要文化財。赤鳥居は街道沿いに現存する。



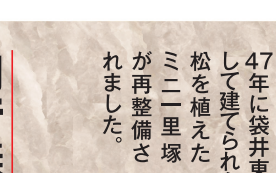
妙日寺(貴名氏供養塔)
正慶元年、身延山三世日善の開創による日蓮宗の古刹。日蓮上人の父重忠とその妻の墓が祀られている。寺のある所は先祖代々の邸宅跡とされ、供養塔も残っている。



久津部一里塚跡
江戸からちよと60里目の一里塚。昭和47年に袋井東小学校開校100周年を記念して建てられた石碑を活かし、平成12年松を植えたミニ一里塚が再整備されました。



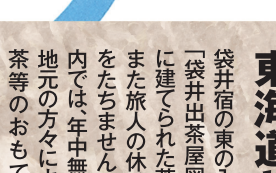
用行義塾跡
学制が公布される前の明治五年、久津部の有志によって設立された「郷学校」で、袋井の近代教育の発祥の地である。



東海道どまん中茶屋
袋井宿の東の入り口に、初代広重が描いた「袋井出茶屋図」をモチーフに平成11年に建てられた茶屋。市民の憩いの場として、また旅人の休憩の場として訪れる人が後をたらず。茶屋内では年中無休で、地元の方々による湯茶等のおもてなしをしています。是非一度お立ち寄りください。



袋井宿東本陣公園
袋井宿内には、東・中西の三つの本陣がありました。「志番御本陣」と呼ばれた東本陣跡の一角に、発掘調査の結果を踏まえ整備された公園。冠木門や小庭園が往時の面影を偲ばせます。



澤野医院記念館
江戸時代から地域医療を担ってきた澤野家を顕彰する記念館。安政の大地震の後再建された居宅、大正から昭和にかけての洋館や病棟が整備され、私設病院の往時の姿を肌で感じることが出来ます。



万葉歌碑
万葉集の中に、袋井ゆかりの防人が詠んだ、故郷や家族と別れる悲しさを詠ったもの二首が記され、その歌碑が袋井中学校に建てられている。



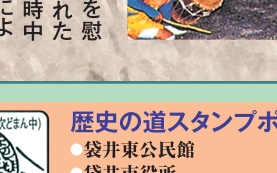
木原復元一里塚
袋井の名栗上貫名から久津部、新屋の間には、東海道の松並木と土塁がよく残っています。土塁とは街道の両側に続く帯状の土の高まりをいいます。東海道400周年を記念し、長さ約15Kにわたり、この土塁と松並木、北側に遊歩道が整備されました。ぜひ一度歩いてみてください。



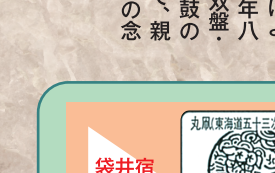
袋井宿場公園
東海道五十三次どまん中袋井宿のシンボルとして平成4年に整備された公園。各種ウオーキング大会のスタート・ゴール地点として有名です。



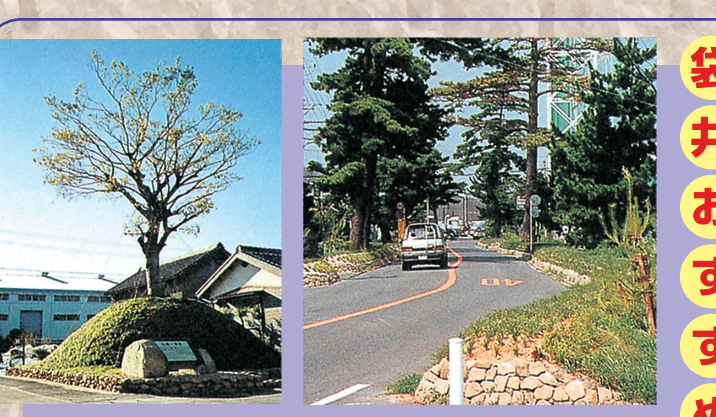
木原大念仏
(市指定無形民俗文化財)
「笹田源吾」の霊を慰めるために始められたと伝えられるが、時中断し、地元の人達によって復活した。毎年八月のお盆の時期に双盤太鼓・笛・きり太鼓の鳴り物に合わせて、親和讃・子和讃などの念仏踊りを行う。



木原復元一里塚
方形の石積の上に原寸大(直径カメートル高さ二・六メートル)で築かれた東海道沿線唯一の復元一里塚。大きな榎が地域のシンボルとなっている。



袋井宿
歴史の道スタンプポイント
●袋井東公民館
●袋井市役所
●袋井商工会議所
●袋井宿場公園
●可睡斎 法多山 油山寺



袋井おすすめスポット
東海道の松並木と土塁
袋井の名栗上貫名から久津部、新屋の間には、東海道の松並木と土塁がよく残っています。土塁とは街道の両側に続く帯状の土の高まりをいいます。東海道400周年を記念し、長さ約15Kにわたり、この土塁と松並木、北側に遊歩道が整備されました。ぜひ一度歩いてみてください。



木原復元一里塚
方形の石積の上に原寸大(直径カメートル高さ二・六メートル)で築かれた東海道沿線唯一の復元一里塚。大きな榎が地域のシンボルとなっている。